



伊藤正興
チャレンジはんだ



広告付き避難所看板
の設置状況

問 どのような方法で
広告を募っていますか。

「広告付き避難所看板の
設置に関する協定」により
広告事業主が広告を募るこ
とになっています。

問 過去5年間で新たな
設置はありましたか。

新規の設置はありません。



小学生の登下校時に
おける熱中症対策

問 これまで登下校時に
熱中症を発症した児童
はいいますか。

過去3年間に於いて登下
校時に熱中症により緊急搬
送された児童はいません。
今年度は、登校中の体調悪
化を訴える児童を保健室で
休ませた事例が5月に2件、
6月に2件ありました。

問 これまで保護者から
登下校時の熱中症対策
について要望等がありま
したか。

市や学校に対して冷却
グッズを冷やす冷凍庫を設
置することなどの要望や問
い合わせがありました。

問 児童の命を守るため、
登下校時の熱中症対策の
強化が必要と考えますが
市の見解を伺います。

今後も他の自治体の取組
みなどについて情報収集を
行い、先進的な事例につい
ては、その効果や問題点な
どを検証しながら幅広く熱
中症対策の強化に取組んで
いく必要があると考えてい
ます。



山田清一
公明党



データに基づく市政

問 エビデンスとは、「根
拠となる客観的なデー
タ」のことですが、これを
根拠に、政策の立案を行
うEBPMの意義と必要
性をどのように認識して
いますか。

限られた財源の中で効果
的に政策を進めていくため
に客観的なデータに基づき
政策形成は必要であり、「E
BPM」は重要なものと捉え
ています。

問 庁内での統計データ
の共有・連携の現状と課
題について伺います。

市民アンケート、施設利
用状況などのデータは各課
等が個別に保有しており、
必要に応じ照会していま
す。全庁的な仕組みやツ
ールが整っておらず、デー
タ共有の必要性が十分に浸透し

ていないことが課題です。

問 EBPMを活用した市
民への政策説明や情報発
信について伺います。

予算や決算説明資料で
は、データを図表化して周
知しています。今後は計画
や政策等についても、市民
に分かりやすく示すよう各
課等に徹底します。

問 EBPMを政策決定
に定着させるための中
長期ビジョンについて伺
います。

3か年実施計画や主要事
業評価の策定要領等にEB
PMに関する記述を加え、
研修や環境整備等により、
EBPMに対する職員の理
解度の向上と専門性の確保
に努めます。

EBPMの3つの意義

1. 効率性の向上
2. 公平性の確保
3. 説明責任の強化



有留麻由
(無所属)



訪問介護・看護への
支援を求める

問 介護報酬引き下げ後
の半田市内における介
護事業所への影響はどの
ようですか。

現時点では、大きな影響
は生じていません。今後も
状況の把握に努めます。

問 事業所の経営状況を
アンケート等で把握する
べきではありませんか。

調査はしていませんが、
現場に出向いたり、会議
の場で確認したりしてい
るため、アンケート等の
予定はありません。

問 介護職・看護職の人手
不足が深刻化する中、ど
のような対策をしてい
ますか。

介護職の魅力をPRす
るとともに、ハローワー

クと連携し、雇用の安定を
支援しています。

問 市独自で事業所への
経済的支援をするべき
ではありませんか。

独自の支援は考えていま
せんが、事業所に国の加算
制度や県の補助金制度等を
周知していきます。

ひとり暮らしの高齢
者への支援体制を求
める

問 ひとりで判断しづら
くなった高齢者の相談体
制はどのようなですか。

2か所の地域包括支援セ
ンターが相談を受けていま
す。

問 相談は個人により
様々です。市独自のサ
ポート体制が必要では
ありませんか。

既にある相談窓口の周知
を強化していきます。



市政への一般質問
(質問議員が執筆しています)

議案の審議結果

決算認定議案の審査

特別委員会の
調査テーマ

事業評価

議員勉強会